

# タマネギのべと病予防について



## 1) 栽培における注意点

① 水はけを良くする ※タマネギは湿害に弱い

・高畝にする

・黒マルチをしない

(黒マルチをしていると、一旦畝に入った水は蒸発しにくく、特に雨量が多かった場合は、土中湿度の高い状態が長くなる)

② 元肥・追肥が多くなり過ぎないようにする (特に窒素肥料)

③ 追肥は1回目12月中下旬、2回目2月下旬と言われているが、肥料が足りているようであれば、2回目は施肥しない。

④ 2回目の追肥をしてその後極端に雨量が少ない場合は、水遣りをして早いタイミングで肥料を効かせるようにする。

(雨が降らないと追肥の化成肥料が溶けずにそのまま残り、3月中旬や下旬になってから雨が降ると、実質追肥が効く時期が遅くなり、べと病やとう立ちが多くなる)

## 2) 前年にタマネギのべと病が発生した区画における農薬の施用による予防

### 適用農薬

・フロンサイド粉剤

施用時期：苗の定植前

使用量	使用回数	使用方法
1㎡あたり40g	1回	全面土壌混和

・ジマンダイセン水和剤

施用時期：苗の定植後からべと病発生まで

希釈倍数	散布液量	使用方法	使用時期	使用回数
400～600倍	1㎡あたり100～300cc	散布	収穫3日前まで	5回以内